

シニアクラブ浜松市

○総人口 790,580人 ○65歳以上人口 225,153人 ○高齢化率 28.5%
○シニアクラブ会員数 17,846人 ○シニアクラブ加入率 7.9%

～シニアクラブ浜北支部連合会～

《概況》

○安心・安全ネットワークの構築活動

日 時：令和5年9月

会 場：ふれあい交流センター浜北

参加者：理事29名（内参加者17名）

内 容：理事を対象にLINEグループ作り

- ・情報・連絡等伝達体制の構築
- ・災害時の安否確認。会員・地域住民を含めた情報伝達の確立。
- ・危険箇所、避難箇所等の作成と周知の徹底
- ・スケジュール管理により会議等の参加状況、賛否・意見集約など事務処理の効率化を進める。

その他：地域支え合い活動推進委託要領に基づき安心・安全ネットワーク構築事業として、次の事業を実施した。

- (1) 高齢者を対象にしたスマホ講座を開催し、高齢者がデジタル化から取り残されないよう、スマホの基本的な使い方から特殊詐欺被害に巻き込まれないための回避・解決方法などについての講座を実施。
- (2) 災害が発生した時高齢者が磁力で避難できるよう災害に対する備えと対策方法について勉強会を実施した。
 - ① 災害伝言ダイヤル等の使い方
 - ② 災害時非常防災用品等の準備と使い方

《成果》

○安心・安全ネットワークの構築活動

- ・ライングループ化を推進し、総務会（役員）の連絡事項等がラインにより送受信できるようになり、事務処理の効率化が図られた。
- ・台風、地震等緊急時の伝達情報が共有できた。特に高齢者の安否確認に効果があった。
- ・グループ化により会議の回数を減らすことができ、賛否の集約や決定事項がスムーズに行うこと

が出来た。

- ・単位クラブのグループ化も一部地区で進んでおり、行事等の連絡事項に役立っている。
- ・画像を通して見ることにより理解度が増し、より正確な状況を把握することが出来た。

(防災意識)

災害が発生すると我々高齢者は災害弱者となります。日頃から災害に対する心構えや準備をしておくことが必要です。

今年1月の能登半島地震では、地震の恐ろしさを身に沁みて感じました。

災害者の生活環境を見ると、いたたまれません。常に災害の備えと知識を身につけておかなければなりません。

《今後の方針》

○安心・安全ネットワークの構築活動

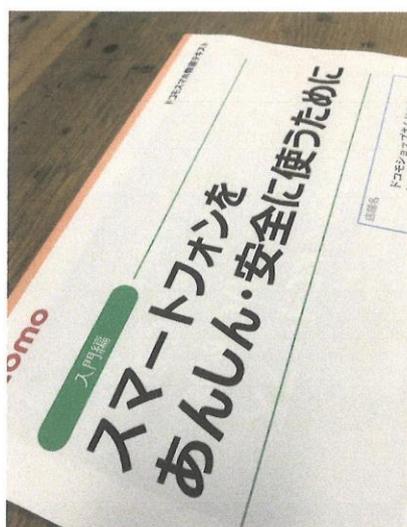
- ・今後、日本も更にデジタル化が進み、ペーパーレス化やスマホ決済など高齢者は時代についていけず周囲のサポートが不可欠となります。行政のマイナンバー制度の推進などで、デジタル活用が国民運動として盛り上がることも予想されます。また、コロナ禍以降テレワーク、オンライン会議なども推進されております。ネットワーク化には、高齢者は抵抗感を持つ人もいますが、時代の波に乗り遅れない為には高齢者のデジタル教育が益々必要となってきます。ネットワーク化を更に推し進め高齢者の安心・安全のため行政の効率化に向け取り組んでまいります。

今後の取組みとしては、次のとおり考えております。

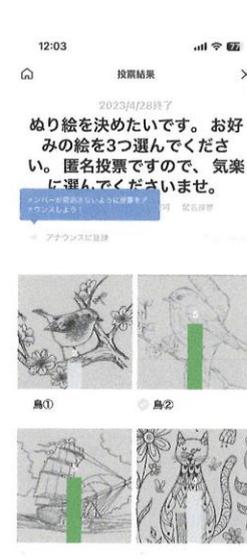
- (1) 引き続きスマホ講座を開設し、未受講者に広く受講を呼びかける。
- (2) 仲間同士誘い合っでの参加は効果があり、未会員の入会にも繋がります。
- (3) 初心者が楽しく受講できる雰囲気作りをする。
- (4) 再受講者は、新たな講座内容に挑戦していただき段階的なレベルアップと高度化を図っていく。
- (5) 受講日数の確保に務め、多数の会員が受講できるよう体制作りを考える。
- (6) スマホ講座を通して、高齢者がデジタル化に興味を持ってもらい、必要性についての意識を高める。
- (7) スマホ講座を広くPRし、会員の入会と増員をはかる。

ネットワーク化の推進について一部会員からは、「なぜ、やらなければならないのか?」俺たちには無理だ!高齢者には覚えられないなど意見あり。納得できる部分もあるが、協力をお願いします。

【活動の様子】



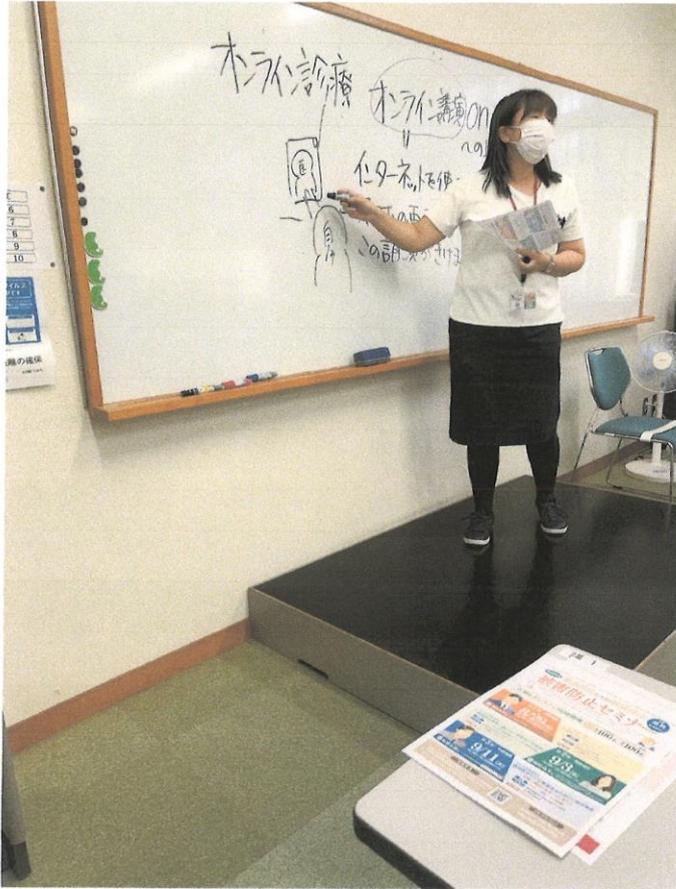
※LINE の講座を行う事で地域や会員同士のネットワークを広げて、情報共有をしたり、災害時に孤立せずに正しい情報を共有できるようにする。



※LINE 機能の中に、「グループトーク」があり離れた地域の会員とも同時に会話をすることができることから、会合の回数を減らすことが出来たり同時に同じ情報を見ることで、誤った解釈を防ぐことができる。

※シニアクラブ浜北の役員のグループの中ではその都度集まることなく、LINE の投票で「ぬりえ」のデザインを決めることができた。

※広域で停電が起きた時に、地域の状況を共有できた。河川の氾濫で浸水や冠水した地域の把握も共有した。



スマホ教室

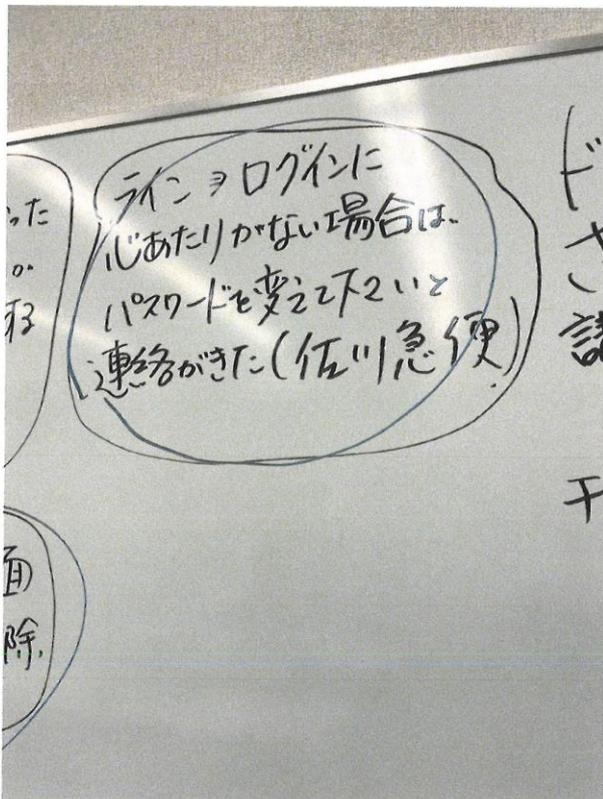
LINE をするにも、インターネットの仕組みを知らないといけないので、簡単に分かりやすく教えてもらいました。

その中で、最近では病院に受診するのもスマホでできるという事を学びました。

LINE で症状を相談する、オンラインで直接画面を通して相談するなど…

その教室を開いた日は、静岡県が主催の「県民向け灵感商法などの悪質商法被害防止セミナー」が開催されていました。

前もって zoom を申し込んでいたのでスマホ教室の受講者にも一緒に見て頂きました。



悪質商法防止のセミナーを聞いたのでスマホの中に迷惑メールが来ていないかと聞いたら

「ログインに心当たりがない場合はパスワードを変えてください」

という URL で誘導するような LINE が入ってきた。

と言う会員がいたので

そこから、LINE は便利でも

知識をつけないと詐欺に遭遇する危険がある。という事を教わった。